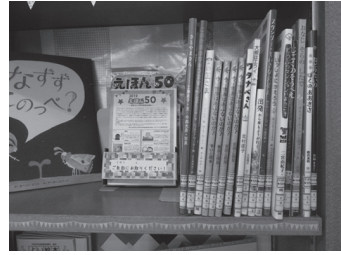




▲小方小学校2年生の皆さんの図書館見学



▲9月のおはなし会のようす



▲えほん50コーナー

「2019えほん50」とは、2017年10月から2018年9月までに刊行された絵本の中から、ぜひ子どもたちに読んでほしいと全国SLA絵本委員会が選んだ本です。「よい絵本」コーナーに展示していますので、ぜひご利用ください。

11月 (NOV)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。



市立図書館ホームページアドレス
<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp>
 携帯アドレス
<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/mobile>
 問い合わせ ☎52-5338 ☎52-8005

展示コーナー
 一般向き カルチャークラブ
 児童向き しよくよくのあき
 時事コーナー 文豪ってどんな人？

お知らせ
 11月3日(祝・日)文化の日は開館します。

楽しい音読教室(18ページ参照)
 とき11月20日(水)14時〜▼ところ 総合市民
 会館第2研修室▼対象 大人の方

おはなし会
 とき11月16日(土)11時〜▼ところ 図書館1
 階おはなしの部屋▼対象 幼児・小学生

親子で楽しむおはなし会
 とき11月8日(金)11時〜▼ところ 図書館2
 階ギャラリー1▼対象 1歳から

イベント紹介
 おひぎにだっこのおはなし会
 とき11月8日(金)10時30分〜▼ところ
 図書館2階ギャラリー3▼対象 赤ちゃん
 向き

ぶらり、ライブラリー

—としょかんさんぽ—

問い合わせ 市立図書館 ☎52-5338

文化の日を中心とする10月27日(日)から11月9日(土)は読書週間です。

本を読むのにはいい季節。この機会に、散歩がてら図書館に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



それぞれのおすすめの本を手に、鍛冶館長(前列右)と図書館スタッフ。

「人は喉から老いるとも言われています。声を出すことで若返りできるようにと思って企画しました。みんなで一緒に読むので恥ずかしくはないと思います。一人暮らしなどで人と話す機会が減っている方も、声に出すと気持ちがいいものですし、内容も頭に入りやすいのではないのでしょうか」と鍛冶館長。

今年度の新規事業として11月から3回にわたり予定しているのが「楽しい音読教室」です。これは芥川龍之介や中原中也などの作品や、小学校の副読本にある郷土史に関する文章をみんなで声に出して読んでみようというものです。

「人は喉から老いるとも言われています。声を出すことで若返りできるようにと思って企画しました。みんなで一緒に読むので恥ずかしくはないと思います。一人暮らしなどで人と話す機会が減っている方も、声に出すと気持ちがいいものですし、内容も頭に入りやすいのではないのでしょうか」と鍛冶館長。

ノーベル賞発表にも即対応——
 図書館に入ると右脇にノーベル賞の関連本のコーナーがあります。10月にリチウムイオン電池の開発で吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞したことに加え、早稲田大学が受賞した。ほかにも映画化、ドラマ化の原作コーナーなど、タイムリーなコーナーを展開しています。

鍛冶美和子館長は、県立図書館を退職後、4年半前から市立図書館に勤務。平成28年度から館長を務めている40数年のキャリアを積んできたベテランです。これまでも、『楽しい唄で世界一周』国立国会図書館の歴史の音源を聴く〜など、さまざまなイベントを行ってきました。

新刊案内

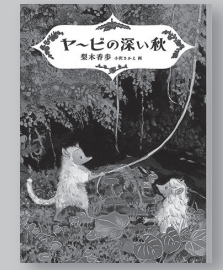
こどもの本

おとなの本



「あなあなはてな」

はらべこめがね/作(アリス館)
 どうしてあながあいてるの？ちくわ、ドーナツ、パイナップル、マカロニ、れんこん…。どんなあなにも理由があります。おいしさを作る、あなのひみつを紹介します。



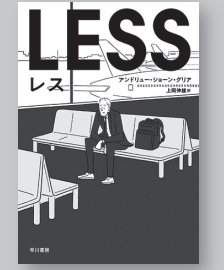
「ヤービの深い秋」

梨木 香歩/著
 小沢 さかえ/画
 (福音館書店)



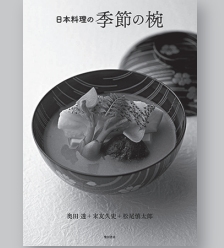
「太陽ってどんな星?」

宮原 ひろ子/作
 (新日本出版社)



「LESS」

アンドリュウ・ショーン・グリア/著
 上岡 伸雄/訳 (早川書房)



「日本料理の季節の椀」

奥田 透/著 (柴田書店)

「わたしの良い子」

寺地 はるな/著(中央公論新社)

大人が言う「良い子」って、何？出奔した妹の子ども・朔と暮らすことになった椿。勉強が苦手な内にこもりがちな、決して育てやすくはない朔との生活の中で、椿は無意識に朔を他の子どもと比べていることに気づき…。



近年、音読に注目されて、いろいろな本が出版されています。

「近年、こうした取り組みが注目されていますが、県内の図書館では、まだあまり例がないのではないのでしょうか」。館長は、意欲をのぞかせます。ぶらり、ライブラリー——
 市立図書館の入り口には、本の交換コーナーもあり、不要になった本を持ち寄り、自由に持ち帰ったりすることが出来ます。館長の話では、この図書館では、比較的古い小説がそろっています。

楽しい音読教室

とき
 第1回 11月20日(水)
 第2回 令和2年1月15日(水)
 第3回 令和2年3月18日(水)
 いずれも14時から
 ところ 総合市民会館
 対象 大人の方
 定員 15人程度
 申し込み 電話、または直接図書館へ。

図書館に来ることが難しい障害者には、登録すれば無料で郵送する貸し出し制度もあります。詳しくは市立図書館にお問い合わせください。
 読書好きの方も、少し本から遠ざかっている方も、読書週間のこの季節、「ぶらり」と図書館を訪れてみませんか。



司書の岡田さんのおすすめは、ロシア革命後のモスクワが舞台の『モスクワの伯爵』。映像化も予定されています。